「福祉施設の実践事例発表　～役立つ活かせる実践研究　工夫とアイデア」発表事例を募集します！

福祉施設の現場では、職員等が利用者への援助・支援において創意・工夫をはかり、福祉サービスの質的改善や地域の福祉向上がはかられています。こうした質の向上を図るための創意・工夫の実践事例には、多くの福祉施設で活かせる工夫とアイデアがあります。国際福祉機器展では、このような実践事例を募集し、セミナーを開催して、展示会に来場される多くの福祉施設関係者に各施設で取り組まれている実践事例を紹介します。

1．募集内容

高齢者・障害者（児）施設における日々の利用者に対する福祉サービスにおいて、研究され、創意工夫して取り組みを行っている実践事例を募集します。

＜募集事例＞

①福祉施設における「医療的支援」に関わる取り組み
・ターミナルケア、胃ろう造設後のケア、喀痰吸引、口腔ケア、医療機関との連携など
②福祉施設における「地域支援」
・生活困窮者支援、就労支援、地域の高齢者・障害者を支える取り組み、法人としての地域貢献
③福祉施設における「リスクマネジメント」
・防災に対する取り組み、災害時・新型インフルエンザ等発生時の BCP（事業継続計画）の作成に関する取り組み、ケアの場面における危機管理に関する取り組み
④その他、福祉施設における創意工夫の取り組み

2．応募資格

全国の社会福祉法人が経営する高齢者施設、障害者（児）施設等に勤務する役職員

3．応募方法

・発表内容の概要をA4用紙4枚以内にまとめ、HCR 事務局へ送付（郵送または E メール）してください。
・他のセミナー等ですでに発表を行っている場合は、発表時に使用したレジュメも可。
・必ず、施設名、施設種別、利用者数、職員数、施設所在地、TEL、FAX、メールアドレス、ご連絡担当者名を明記のうえ、ご応募ください。

4．応募締切

平成 27 年 6 月 30 日（火）

5．発　　表

・発表日　　平成 27 年 10 月 7 日（水）午後（予定）
・会　場　　東京ビッグサイト　会議棟6F
・発表時間　1 テーマ 20 分および質疑応答（予定）

6．発表テーマの選定

・応募多数の場合は、保健福祉広報協会審査会にて審査のうえ、発表事例を決定します。

7．その他

・発表事例の決定は、8 月上旬頃を予定しています。
・発表にかかる旅費交通費については、本会規定によりお支払いたします。

8．応募書類送付先（事務局）

一般財団法人保健福祉広報協会（国際福祉機器展事務局）
〒100-8980 東京都千代田区霞が関 3－3－2 新霞が関ビル
TEL 03-3580-3052　/　FAX 03-5512-9798　/　E-Mail　hcr@muf.biglobe.ne.jp